

# ふじちゅうあい

目指す生徒像・教職員像

「自ら光り、

人のために生きる

子ども・教職員・保護者」

『愛にあふれた学校を』

『掃除・笑い・感謝』

〈校長室だより R1#19〉

令和元年 11月 15(金)発行

学年目標

1年 互いに高め合い、感謝の心を実践する生徒

2年 “なぜ、どうして”を大切に、

共に考え、カリ-ワの自分(達)を創っていこう！

3年 目標に向かってとことんやり抜こう

## 吹奏楽部、定期演奏会を終える、、、新たに見える姿、。



ただ単に「定期演奏会」が終わった訳ではなくて、子どもたち、先生、保護者の今年の大きな想い、があったということ、終わってから、改めて感じました。

今年の吹奏楽部に、大きく胸を張って、新しい日々に進んでほしいと思っています。

最後に部長の夏々さんが部員や先生方、保護者の前であいさつをしたそうですが、それを聞いただけで、全てが満足でしたと岡部先生が言っていました。ですので、夏々さんに、その時を振り返って、書いてもらいました。

「今日は、おつかれ様でした。運動会が終わり、今日の定期演奏会を迎えるまで、本当に少ない時間の中で、1,2年生は3年生が選んだ曲がもの凄いスピードで配られて、半分ムチャぶりのようなパフォーマンスを叩き込まれて、本当に大変だったと思います。でも、本番では私たち3年生が考えていたもの以上のパフォーマンスをしてくれました。本当にありがとうございます。そして、このメンバーで活動出来るのも文化祭だけとなってしまいました。また、たくさん頼んでしまうこともあると思いますが、ついてきてください！(笑)最後になりましたが、先生方、OBOGの方々、保護者の方々の支えがあって、この定期演奏会が開催できたこと、本当に感謝しています。ありがとうございました。」

3年生へ 「今年の3年生は、部長の私以上に部活を支えてくれました。どんな小さなことでも、保護者の方、先生方に感謝の気持ちを持ち、自主的に「ありがとうございます。」とっていました。そして、常に笑顔でいてくれました。時には厳しくルールを教え、時には優しく面白く部活内を和ませてくれました。私は、役に立った部長だったのか、わかりません。しかし、この仲間がいたからこそ、頑張れたんだと思います。特に今年の3年生の他の3人には、感謝してもしきれません。この3人は私にとって、「最高の理解者であり、最高の友達です。」

岡部先生から感動した、桑原先生への一言(概要) 「私は、部長という立場で皆を支えたり、新しく藤中に来た桑原先生を上手くサポートできませんでした。ですが、桑原先生のおかげで、私は部活に行きたい、部活が楽しいと前よりも思えるようになりました。本当にありがとうございました。」

桑原先生が、「3年生は細かいところに気を配り、すべて、スムーズに流れるように頑張ってくれて、こんな、子どもたち、見たことがありません。」と  
 言っていました。

## 駅伝部、誇りを胸に、...!

今年の駅伝、5位は大健闘だと菊池先生と板子先生からの言です。

正直、昨年の滝澤愛弥くんのような全国区で活躍する選手は、今、いません。だから、子どもたちの気持ちがかもとなえてしまうのではないかと心配していました。



◆ 5位 1時間05分52秒

- ◆ 1区： 原田 琉生 (12分51秒)
- 2区： 野中 勇作 (10分04秒)
- 3区： 阿久津碧空 (10分50秒)
- 4区： 石川 帆崇 (10分46秒)
- 5区： 三浦 隼人 (10分28秒)
- 6区： ◎福田 涼馬 (10分53秒)
- リバ - 福田 俊
- 小野 拓人
- 江川 竜都
- 北田 大起

ところが、参加した子どもたち全員、真正直にチャレンジする姿に、うたれました。学校に帰ってきてから、星野先生と、「どうして、この(藤中)の子どもたちは、もっと、嫌がったり手を抜きたいところにピュアに反応するの  
だろう?!」と話しました。

文化祭は、すばらしいかたちとなって、終了しました。詳細は、次

号へ。

さて、左の写真は、校長室の隣のバルコニーで、放課後練習する、野乃花さん、麻由さん、望心さん、日菜多さん、遙さん、侑生さん、そして星野先生。

放課後のこのひとつの風景に、どけだけ癒やされるでしょうか。



彼女たちが、心一つに、清らかに練習する、その声が、校舎の隅から学校に届いていくこと、そのことに、彼女たちの美しさと純粋な想い、そして祈りを感じました。その瞬間に触れ、ほんとうに、幸福だ、と思いました。

ある朝、遠くから、「おはようございます。」とあいさつをする姿に、ちょっと感心し、近づいたら斉藤さくらさんでした。なぜ、さくらさんの挨拶に感心したのかといいますと、さくらさんは、『山口が、いる、』ということをちゃんと認識し、送ってくれたのです。

挨拶にルールはありませんが、『その人に気持ちをむけること』なのだ、と思います。